

令和2年度

石山高等学校 学校評価

本年度の重点目標

- ・生徒の持つ能力を引き出し、伸ばし、可能性を広げる学校とする。
- ・生徒に、深く、しっかりと関わる指導を充実させる。
- ・普通科・音楽科それぞれの特性にふさわしい魅力ある教育を展開する学校とする。

領域	重点評価項目	中間評価(10月)	総合評価(3月)	
		自己評価	自己評価	学校関係者評価
1 学校経営	学校の課題を明らかにして、学校経営に取り組んでいる。	B	B	A
	学校の教育方針や重点的な取組みなどを、わかりやすく伝えようと努力している。	B	B	A
2 学習指導	教育課程やシラバスを工夫し、生徒の学習習慣の確立や学力向上に努力している。	B	B	A
	授業を大切にし、教科指導や評価の工夫に努めている。	A	A	A
3 生徒指導	生徒が何をできるようになるか、何をどのように学ぶかを大切に授業をしている。	A	B	B
	生活習慣を確立し、気持ちのよいあいさつができるよう、指導に努めている。	B	B	B
4 進路指導	通学途上や学校生活での安全を確保するため、適切な安全指導に努めている。	B	B	B
	他人を思いやる態度を育て、相互の信頼を深めることでいじめ等のない学校生活を送れるよう配慮している。	A	A	A
5 特別活動等	将来を見通した進路選択ができるよう、きめ細かな進路指導に努めている。	B	B	B
	進路に関する情報を適切に提供するように努めている。	A	A	A
6 学校図書館	生徒の自主性を育成するため、学園祭や部活動の活性化に積極的に取り組んでいる。	B	A	A
	学校行事や生徒会活動等とおして、ボランティア活動等を支援している。	B	B	B
7 保健・安全指導	生徒や教職員のニーズに応えられる図書の実用性を図り、生徒の読書習慣の定着に努めている。	A	A	B
	図書に関する情報等を適切に提供し、図書館の利用促進に努力している。	A	A	A
8 人権教育	健康診断や保健室での指導等とおして、生徒の適切な健康管理に努めている。	A	A	A
	生徒の意識を高めるよう、健康についての情報を適切に提供している。	A	A	B
9 環境教育	生徒の人権意識が高まるよう、三年間を見とおした人権教育を行っている。	B	A	A
	生徒の人権を尊重し、快適な学校生活が送れるように配慮している。	A	A	A
10 事務・管理	教科・科目やホームルーム活動等の指導とおして、適切な環境教育に努めている。	B	A	B
	学園祭のゴミ減量化などの指導とおして、生徒の環境意識を高める指導に努めている。	B	B	B
11 その他 学校の取組み	良好な学習環境を確保するため、適切な施設・設備の維持・管理に努めている。	C	B	B
	個人情報保護や文書の公開等に対処するため、適切な文書の作成・管理等に努めている。	A	A	B
11 その他 学校の取組み	学校のホームページ等を活用して、学校行事や学校の取組みに関する情報を、積極的に発信している。	B	A	A
	定期演奏会やオープンキャンパス等を開催し、中学生の進路選択に役立つよう工夫している。	A	A	A

(注) ・評価表の見方： 6月 学校の教育目標に基づいた重点評価項目の公表

10月 中間評価(自己評価)の公表(8月までの教育活動に対する中間評価) A B C Dの4段階評価で示す。

3月 総合評価(自己評価・学校関係者評価)の公表(年間の教育活動に対する総合評価) A B C Dの4段階で示す。

・自己評価は教職員による評価。学校関係者評価は、保護者・学校評議員等より構成された評価委員会等が自己評価の結果について評価することを基本として行う評価。

・A B C Dの基準については、評価項目の内容が、十分に達成できた場合(達成度80%以上)はA、おおむね達成できた場合(達成度60%以上80%まで)はB、あまり達成できていない場合(達成度40%以上60%まで)はC、達成できていない場合(達成度40%未満)はDとする。

ただし、アンケートの結果等を機械的にA B C Dの評価に置き換えるのではなく、学校の現状を真摯に分析・検討し、今後の学校改善につながるよう、適切に評価すること。

(別紙様式)

令和2年度学校評価について

学校番号	7	学校名	石山高等学校
校長名	田中孝昌		

1 評価方法について

領域	評価方法・(実施月)	
	自己評価	学校関係者評価
1 学校経営	生徒・保護者アンケート(11月下旬～12月実施) および分掌、学年、教科、委員会等での総括をもとに 評価(2月)	学校評議員会にて学校関係者評価を実施(2月17日)
2 学習指導	生徒・保護者アンケート(11月下旬～12月実施) および分掌、学年、教科、委員会等での総括をもとに 評価(2月)	学校評議員会にて学校関係者評価を実施(2月17日)
3 生徒指導	生徒・保護者アンケート(11月下旬～12月実施) および分掌、学年、教科、委員会等での総括をもとに 評価(2月)	学校評議員会にて学校関係者評価を実施(2月17日)
4 進路指導	生徒・保護者アンケート(11月下旬～12月実施) および分掌、学年、教科、委員会等での総括をもとに 評価(2月)	学校評議員会にて学校関係者評価を実施(2月17日)
5 特別活動等	生徒・保護者アンケート(11月下旬～12月実施) および分掌、学年、教科、委員会等での総括をもとに 評価(2月)	学校評議員会にて学校関係者評価を実施(2月17日)
6 学校図書館	生徒・保護者アンケート(11月下旬～12月実施) および分掌、学年、教科、委員会等での総括をもとに 評価(2月)	学校評議員会にて学校関係者評価を実施(2月17日)
7 保健・安全指導	生徒・保護者アンケート(11月下旬～12月実施) および分掌、学年、教科、委員会等での総括をもとに 評価(2月)	学校評議員会にて学校関係者評価を実施(2月17日)
8 人権教育	生徒・保護者アンケート(11月下旬～12月実施) および分掌、学年、教科、委員会等での総括をもとに 評価(2月)	学校評議員会にて学校関係者評価を実施(2月17日)
9 環境教育	生徒・保護者アンケート(11月下旬～12月実施) および分掌、学年、教科、委員会等での総括をもとに 評価(2月)	学校評議員会にて学校関係者評価を実施(2月17日)
10 事務・管理	生徒・保護者アンケート(11月下旬～12月実施) および分掌、学年、教科、委員会等での総括をもとに 評価(2月)	学校評議員会にて学校関係者評価を実施(2月17日)
11 その他学校の 取り組み	生徒・保護者アンケート(11月下旬～12月実施) および分掌、学年、教科、委員会等での総括をもとに 評価(2月)	学校評議員会にて学校関係者評価を実施(2月17日)

2 学校評価の活用等について(課題の改善に向けた具体的な取り組み等)

- 1 学校経営： 学校の教育方針や取り組みの重点項目などを、グランドデザインの構築とともにより明確化・具体化するとともに、様々な教育活動の整理・見直しを行います。また、学校長は全校集会や PTA 総会などの機会あるごとに、また全ての教職員は日常の様々な教育活動の中で、生徒・保護者に周知することに努めます。
- 2 学習指導： 変革推進委員会を中心に校内研修や授業研究を行い、組織的な授業改善を行うとともに授業評価アンケートを実施し、分析・改善に取り組みます。また、情報委員会を中心に ICT を活用した新たな授業の在り方や学び方についての研究・実践を行います。さらに、今年度導入したスタディサプリを継続し、学年や教科担当者を中心に活用を促進し、主体的に学ぶ力の育成に努めます。
- 3 生徒指導： 誰もが気持ちのよいあいさつができるよう、更に効果的な取り組みを推進するとともに、携帯電話の取り扱いに関するルール等を見直し、より充実した学校生活を送れるよう指導します。また、制服検討委員会を中心に新たな制服についての検討を進めるとともに、服装に関するルールを見直し、石高生としての自覚を持った節度ある身嗜

(別紙様式)

みができるよう指導します。

- 4 進路指導： 石高アカデミック事業、キャリア教育を関連付けながら、「総合的な探究の時間」の充実を図り、学校全体で組織的に取り組む体制を構築します。
生徒の主体的で深い学びを実現し、知的好奇心や探究心を高めながら学力を伸ばし、高い志を持って難関大学へチャレンジする生徒を増やすなどして、進学実績を高めます。
- 5 特別活動等： 生徒会活動、学校行事、部活動の目的やあり方を明確にし、生徒の主体性を尊重した意義のある活動を推進します。また、学園祭については、実施時期や内容を見直し、県立体育館を会場として利用するなどして、安全面に十分配慮して実施します。
- 6 学校図書館： 図書館からの情報発信に努めるとともに、各種コンクールへの応募やビブリオバトルへの参加などを推進し、個々の生徒の読書活動の充実に努めます。また、図書館の環境を整備し、図書館の利用を促進します。
- 7 保健・安全指導： 生徒および教職員対象の熱中症や心肺蘇生などに関する講習会を継続して実施し、生徒の健康に対する意識の向上と教職員の危機管理意識の向上に努めます。
また、新型コロナウイルス感染症対策を徹底するとともに教育環境の整備に努め、安心・安全な学校づくりを目指します。
- 8 人権教育： 教職員の人権研修を定期的・計画的に実施し人権意識の向上に努めます。また、コロナ禍における人権問題も含めた人権教育に関する年間計画を策定し、人権委員を中心とした活動を充実させるとともに、生徒の人権にかかわる学びを深めます。
- 9 環境教育： 学習環境の整備に努めるとともに、クリーン大作戦の実施や美化委員会活動の活性化により、掃除や環境に対する意識を育てる取り組みを推進します。
- 10 事務・管理： 学習環境の整備に努めるとともに、限られた教育資源を効率よく運用していけるよう工夫します。
- 11 その他学校の取組み：
 - ・ホームページやマチコミ等を活用し、積極的な情報発信を行います。
 - ・中学校の生徒・保護者対象の学校説明会の更なる充実に努めます。
 - ・音楽科においては、中学生対象の音楽実技体験や音楽会の開催するなど、施設を活用した活動を充実させ、本校音楽科の特色や魅力の紹介に努めます。